



感動と涙の9日間

蒲郡中 内川 隼杜

スタディツアーでは、今まで経験したことがないことを経験し、自分の殻を一回りも二回りも破ることができたと思います。僕は、ホームステイの5日間で、本当の家族ではないのに、温かく迎えてくれたホストファミリーの心の温かさに感動しました。別れる時、とても悲しく、涙を流しましたが、この思いを一生忘れず、これからの生活に生かしていけるように頑張っていきたいです。

国境を越えた温かさ

塩津中 杉浦 光基★

僕のホストファミリーは、僕に「学校はどうだった?」と聞いてくれたり、たまにはジョークも言い合ったりして、とても楽しい家族でした。たった5日間でこんなにも本当の家族のようになれると思うととても不思議です。国境を越えて家族みたいになれたのは、ホストファミリーの「温かさ」があったからです。僕も「温かさ」を大切に生活していきたいと思います。

出会いに感謝

蒲郡中 大村有里依

私はスタディツアーでたくさんの人に出会い、たくさんのことを学んできました。その中でもホームステイでは、英語で自分からコミュニケーションをとろうと何度も話しかけました。すると、日が経つにつれて会話が弾むようになり楽しい日々が過ごせました。また、オーストラリアの大自然を体感しました。このツアーで出会えた人に感謝し、発見したことをこれからは生かしていきたいと思います。

オーストラリア

中学生による海外派遣事業が、10月12日～20日の8泊9日の日程で行われました。

市内の7中学校14人の生徒がオーストラリアを訪問し、現地の中学生との交流やホームステイを通して、海外の生活、文化、風土に対する理解を深めました。

今号では、参加した生徒の声をご紹介します。

学校教育課 ☎66♦1165

双方の心に残るものを

三谷中 織田 祥徳

僕はこのツアーの中で、ホストファミリーとの交流が強く心に残っています。最初はちゃんとなじめるか不安だったけど、フットボールやチェスをやっているうちにだんだん打ち解けてたくさん話せるようになりました。帰ってきてから見たメールでは、いまだに赤ちゃんが僕の名前を呼んでくれているらしくうれしいです。人生で最も短い5日間でした。

気持ちを伝えること

塩津中 柴田 結佳

私が、このスタディツアーで発見したことは、伝えようとする気持ちが大切ということです。言葉が違ってても、一生懸命自分の気持ちを相手に伝えようと努力することが重要だと思いました。ホストファミリーの方は、私の英語を理解しようと目を輝かせながら真剣に聞いてくれました。私も伝わった時はすごくうれしく、楽しかったです。貴重な体験ができた素晴らしいツアーでした。

あっという間の5日間

三谷中 竹内かえで

私が今回のスタディツアーで一番心に残っているのはホームステイです。最初は不安ばかりだったけど、行ってみたら私のホストファミリーはとてもフレンドリーで温かく迎えてくれました。そのおかげで、安心して毎日楽しく過ごすことができました。終わってみるとあっという間の5日間でした。今回のスタディツアーでは、たくさん良い思い出を作り、たくさん良い経験ができました。

ホストファミリーの優しさ

大塚中 坂口 棕介

ホームステイは短い期間でしたが、僕はホストファミリーの方たちととても仲良くなることができました。最初は、「英語で話してうまくコミュニケーションがとれるのだろうか」と、とても不安でした。しかし、少し話してみると、とてもフレンドリーですぐに仲良くなれました。自分の片言の英語を一生懸命理解しようとしてくれました。そんなホストファミリーの方たちには、感謝の気持ちでいっぱいです。

